令和８年度調布市居住支援セミナー

精神障害者の居住支援

～現場からわかる、居住と医療の連携～

11月20日 金 14：00 ～15：30

第１部 講演

発達障害と住まいの選択

障害当事者講師養成研修を修了した講師が、お部屋探しの実経験を踏まえ、住まいの選択時の事例、必要になった支援などについてお話いたします。

第２部 パネルディスカッション

精神障害における居住と医療の連携

精神障害のある方が、安定した暮らしを実現するために、病院・支援機関・不動産事業者ができる連携等について討論を行います。

- 場所：文化会館たづくり　８階映像シアター
- 定員：先着80人
- 参加費：無料
- 対象：不動産事業者、不動産所有者、支援者、病院関係者、そのほか居住支援に関心のある方

申込み：11月2日（月）～11月19日（木）17時まで

申込方法：下記連絡先へ電話・メール・申込フォームから

☎ 042-481-7988（調布市都市整備部住宅課）

✉ jyutaku@city.chofu.lg.jp

申込フォーム

◆主催：調布市居住支援協議会　事務局：調布市都市整備部住宅課

第１部　発達障害と住まいの選択

【当事者講師】栩内考次（とちないこうじ）氏

調布市こころの健康支援センター利用者。ひきこもりの時期を経て、現在、地域のグループホームで一人暮らしをしている。2024年 調布市福祉人材育成センターで実施している「障害当事者講師養成研修」を受講し、現在は自身の障害を社会モデル化して伝えていく「障害当事者講師」として地域で活動している。

第２部 精神障害における居住と医療の連携

●調布市居住支援協議会会長／(有)ｻｲﾄｰﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　齊藤仁志氏

調布市立第三小学校・第五中学校卒業、1987年調布市内の不動産会社に10年修行の後、1996年4月(有)サイトーハウジングを創業。現在は、(公)東京都宅地建物取引業協会第十一ブロック調布狛江支部相談役、調布市居住支援協議会会長、調布市空き家等対策推進協議会委員として、不動産事業者の立場から調布市の居住支援や空き家等対策推進に携わる。

●特定医療法人社団青山会 青木病院　原田綾子氏

大学卒業後、一般企業に勤務。メンタルヘルスに関心を持ち精神保健福祉士を取得する。2016年4月青木病院に入職し、精神科慢性期病棟、急性期病棟、コロナ治療病棟、内科病棟などの経験を経て2023年5月に医療連携相談室室長に着任。現在も病棟担当を継続しながら入退院支援等の業務に携わる。

●調布市こころの健康支援センター　新井敦子氏

2016年 社会福祉法人調布市社会福祉協議会に入職。障がい者支援係での勤務を経て、調布市社会福祉協議会が調布市から委託を受けて運営している「調布市こころの健康支援センター」にて勤務。現在は生活支援係長として精神疾患、発達障害の方の相談支援、通所事業、家族支援を行っている。

●障害当事者講師　栩内考次氏

会場

文化会館たづくり

８階映像シアター

東京都調布市小島町2丁目33-1

京王線調布駅広場口から徒歩4分

